

ページ1の屋根図の青い矢印は、雨水の流れ落ちる方向を表しています。複雑な形状の屋根で雨水が集まる方向をイメージしやすいかと思います。流れ落ちる雨水は軒樋で集められ縦樋で下に排水されます。雨水が複数の面を流れ落ちる屋根と、一面だけを流れ落ちる屋根とでは必要とされる雨水容量が異なります。勾配が緩やかな屋根と、急な屋根では雨水が屋根に残る時間が異なります。雨水が流れる谷部分(低くなっている箇所)では雨漏り(低くなっている箇所)では雨漏りの危険性が高くなります。過去のかわら版でも取り上げておりますが、屋根はシンプルな形状であればあるほど雨漏りのリスクが低いものです。豪華で複雑な屋根は、取り合い(=接合箇所)と呼ばれる場所が多くなるため、雨漏りの危険性が増加します。また、モダンな形状であります。家は雨漏りのリスクが高まります。防水や雨水をスマーズに排水する雨仕舞と言われる工事が丁寧に施工されていてもなお、経年劣化や暴風雨、地震などによる家屋の歪み・ひずみ・メンテナンスは不可欠です。

屋根と雨水

軒の役割

4月から仲間が加わりました

ニューフェイス紹介



工事部
行松 能宏さん

孫七瓦工業株式会社の
経営理念 II 目的理念

私たち、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)

一、私たちは、社会に信頼され会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)

一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。

(人間性)

釣りが趣味です。
小さい頃、家族で海釣りに連れて行ってもらつたのが樂しくて好きになりました。

中学時代などは友達と近くの川へ釣りに行ったり、バス釣りをしたり、日が暮れるとまで楽しみました。

★休日の過ごし方★
★★行つてみたいところ★★

(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

軒が広い場合
一般的に軒は雨除けとして機能します。にわか雨の時に「軒先で雨宿り」なんことがあります。軒の出はまさに傘の役目となります。日本で主流の木造住宅の場合、乾燥と湿潤の繰り返しが劣化をすすめます。つまりは太陽光と雨をいかに防ぐかがカギとなります。

軒が広い場合
外壁に日が当たりにくく雨が吹付ける面積も狭くなります。部屋に陽射しが差し込む面積が狭く直射日光が入りにくいので夏場の室内温の上昇が防げます。壁の経年劣化は緩やかになります。軒天の重量がかさむので耐震性には難点がある事と、施工面積が限られた土地の場合、居住空間を削ることになります。

軒が狭い場合
外壁に日が当たりやすく広くなる為、経年劣化が進みやすいため、外壁材を使つて劣化に強い外壁材を定期的に塗装等のメンテナンスを建てるとか、定期的に劣化が進行する年数に応じてメンテナンスは不可欠です。

★★★行つてみたいところ★★
★★★行つてみたいところ★★
海外に行つてみたいと思いまます。テレビで世界遺産の映像を見たのですが、いつか自分で世界遺産を見てみたいのです。先輩に道具の使い方を教わっています。現場作業にも同行しています。どうぞよろしくお願いします。

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。

まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させて頂きます。

〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業㈱ まごひち瓦版編集部
0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>